



2024年02月 現在

Fujitsu Software

Interstage List Creator Connector V11.1.0

本商品は、Interstage List Creator Standard Edition/Enterprise Editionと連携した分散帳票出力環境を構築する機能を提供します。

本商品を使用することで、帳票生成の負荷をアプリケーションサーバから分離した分散環境の構築が容易にかつ安価に行うことができます。

- ・ サーバ

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- ・ サーバ

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

1. 多様な分散帳票出力機能

(1) 本商品を、Interstage List Creator Standard Edition/Enterprise Editionと連携させることにより、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築するコネクタ機能を提供します。

コネクタ機能により、帳票出力サーバに対してPDF ファイル、OWF ファイルやExcel形式ファイル作成を要求し、作成されたファイルを本商品が動作するサーバに転送することができます。これにより、Web クライアントからの要求により、WWW サーバ側が指示を行い、Web アプリケーションサーバ上でPDF ファイルやOWF ファイルを作成し、WWW サーバに転送して、Web クライアントで参照や印刷を行うといった、Web アプリケーションサーバ-WWW サーバ-Web クライアントの3 階層のWeb 環境を簡単に構築できます。

(2) 業務アプリケーションサーバと帳票生成サーバの通信をIPCOM経由とし、複数の帳票出力サーバにて帳票生成の負荷分散を図ることができます。

2. 実装API

各種アプリケーションサーバに対応するためのインタフェースを提供します。

提供インタフェースは、Java APIおよびコマンドを提供します。

COBOL アプリケーションで作成した帳票を、Interstage List Creatorと連携し出力することも可能です。

V11.0.0からV11.1.0の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Interstage List Creator V11.1.0対応

以下の製品に対応しました。

- Interstage List Creator Standard Edition V11.1.0
- Interstage List Creator Enterprise Edition V11.1.0

2. 新OS対応

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)に対応しました。

3. 帳票出力機能の強化

コネクタ連携時に、帳票出力サーバで出力した帳票(PDFファイル/OWFファイル/Excelファイル/TIFFファイル)をアプリケーションサーバに配置する際に、帳票のアクセス権(パーミッション)を変更できるようになりました。

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ マニュアルについては購入方法を参照してください。

【メディア】

- ・ Interstage List Creator Connector メディアパック (64bit) V11.1.0

【サブスクリプションライセンス/サポート】

[サブスクリプションライセンス/サポート(月額払い)]

- ・ Interstage List Creator Connector プロセッサライセンス for Linux (SL&S)

[サブスクリプションライセンス/サポート(まとめ払い)]

- ・ Interstage List Creator Connector プロセッサライセンス for Linux (SL&S) 7年

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用权は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

3. V7.0以降からのバージョンアップ/レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

4. オンラインマニュアルについて

本商品には、以下のオンラインマニュアルが添付されています。

- ・マニュアル体系と読み方
- ・リリース情報
- ・解説編
- ・帳票設計入門ガイド
- ・帳票設計編
- ・環境設定・帳票運用編
- ・アプリケーション作成ガイド
- ・PDF変換機能編
- ・Excel ファイル出力機能編
- ・TIFF出力機能編
- ・COBOLアプリケーション連携機能編
- ・トラブルシューティング集
- ・メッセージ集
- ・用語集
- ・マルチコネクタ連携機能編

5. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス/サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載しません。

【V11.1.0】

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス/サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

【V11.0.0】

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス/サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

1. 帳票の設計を行う場合

帳票の設計を行う場合は、以下のソフトウェアが必要です。

- ・ Windows版 Interstage List Creator デザイナ V9以降

2. 帳票を出力する場合

帳票を出力する場合は、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

- ・ PRIMERGY-Linux版 Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0以降
- ・ PRIMERGY-Linux版 Interstage List Creator Standard Edition V7.0以降
- ・ PRIMERGY/PRIMEQUEST-Linux(64bit)版 Interstage List Creator Enterprise Edition V9.1.0以降
- ・ PRIMERGY/PRIMEQUEST-Linux(64bit)版 Interstage List Creator Standard Edition V9.1.0以降
- ・ Solaris版 Interstage List Creator Enterprise Edition V8.0以降
- ・ Solaris版 Interstage List Creator Standard Edition V8.0以降
- ・ Windows版 Interstage List Creator Enterprise Edition V9.0以降
- ・ Windows版 Interstage List Creator Standard Edition V9.0以降

3. Interstage List CreatorのJavaインタフェースでPDFに外字を埋め込む場合

以下のソフトウェアが必要です。

- ・ Interstage Charset Manager Standard Edition Agent V9.4.1以降

4. COBOLアプリケーション連携機能を利用する場合

COBOLアプリケーション連携機能を使用する場合、以下のソフトウェアが必要です。

<アプリケーションサーバ側>

以下のいずれかのソフトウェアが必要です。(*1)

- ・ NetCOBOL開発・運用パッケージ V10.1.0 以降
- ・ NetCOBOL運用パッケージ V10.1.0 以降

*1: MeFt コンポーネントを含む製品が必要です。

<帳票出力サーバ側>

以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

[PRIMERGY-Windows]

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V9以降

[Solaris OS]

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V9以降

[PRIMERGY-Linux(64bit)]

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition V9.1.0以降

1. 負荷分散装置

負荷分散装置使用時は、以下のIPCOMを動作保証します。

- ・ IPCOM EX2-1100
- ・ IPCOM EX2-3200
- ・ IPCOM EX2-3500

1. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で、64ビットモードで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)

2. IPv6について

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できません。

(2) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。

Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

3. 仮想環境について

(1) VMwareでの動作について

- vMotion/HA/DR/FT

分散出力型の運用形態はサポート対象外です。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- HA/DR/FT

単独のシステムの範囲でサポートしています。
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- クローニング

コネクタ連携の場合、クローニング後に、コネクタ連携セットアップコマンドの実行が必要です。
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

(2) Hyper-Vでの動作について

- ライブマイグレーション/クイックマイグレーション/Hyper-Vレプリカ/インポート,エクスポート
- 分散出力型の運用形態はサポート対象外です。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

(3) KVMでの動作について

- ライブマイグレーション

分散出力型の運用形態はサポート対象外です。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- クローニング

コネクタ連携の場合、クローニング後に、コネクタ連携セットアップコマンドの実行が必要です。
仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）**
本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。
<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listcreator/>
- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**
価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>